



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

10/14

原爆先生の話を聞いて、原爆のおそろしさを、知りました。  
原爆先生に話を聞くまえまでは、原爆のことをあまり  
知りませんでした。ただ、大爆発する、ということしか知りま  
せませんでした。原爆先生の話を聞いて、爆発もこわいけれ  
ど、放射線もこわいとわかりました。放射線は建物も、つぎつ  
ぎと壊れていきます。そして、放射線は人間に有害なものなので、すごく危険  
だと思いました。4kmもはなれた場所でも、害があるとい  
うことがわかりました。ぼくは、原爆の爆発の速さにびっくりしま  
した。爆発は音よりも速いということです。爆発は一瞬の  
出来事だとわかりました。原爆の爆発の温度は太陽の表面  
温度と同じ約6000℃なので、人間は、一瞬で灰になり、  
爆風でふき飛ばされなくなってしまう。本当に原爆は  
こわいと思いました。そして、「平和」は、本当に大切だと思  
いました。ぼくたちが今できることは、少しでも戦争のこと  
について、知るということだと思いました。ぼくたちは戦争  
を体験したことがないので、戦争について考えられるように  
したいです。どこの国でも戦争がない平和な世界に  
なってほしいです。原爆先生の話を聞いて、本当によかったです。  
原爆先生 本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

10/14

私は、原爆先生に来てもらって思ったことがあります。私は原爆先生以外の方からも話を聞いたことがありましたがどちらも涙が出て来そうになりました。原爆先生から学んで知ったことは、原子爆弾の落とす候補や、原子爆弾投下都市の条件、候補になった都市などです。

自分が今まで「そうだ」と思っていたこととは、ちがうことがたくさんあったけれど「知ることが出来ました」。

原爆先生から、ビデオと一都に口でその時の状況や、池田義三さんが実際にとった行動を思いながら、平和の学習を学んでいこうと思いました。学校で原爆先生の話を受講して色々なことを知ることが出来て良かったと思いました。あと私は、戦争や、平和について少しでも知ることが出来るように、いろんな方法があるので、調べていこうと思いました。原爆先生は、ほかに学校に行、ていっもつらい気持ちになるのに、お話を聞かせていただいたので、感~~職~~をわすれず戦争について知りたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくが原爆先生の話を聞いて思ったことは原爆は1発だけでもたくさんの人の命をうばってしまうということです。原爆はアメリカがつくり、その威力をためすために広島と長崎に投下しましたが、それにより多くの人の命をうばってしまいました。また原爆は爆発した後にもたくさんの放射線をばらまき人々を原爆症という病気にしてしまいます。その病気のせいで今でも苦しんでいる人もいます。このことから原爆はたった1発で人々の大事なものをうばってしまう、もう使ってはいけないものだと思いました。ぼくはこれから平和な社会をつくっていくために相手の立場にもなって人のことをよく考えられるようになっていきたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の特別授業をやりました。  
そして、実際に原爆にあつた人に10月7日にきて  
くださりました。だけど、今は平和な社会  
ですけど、もし自分が原爆のあの場所  
に行て、被害にあつていたら自分は、ど  
のような行動にでるかが分からないので  
そのときの、原爆がどのぐらいの被害だ  
たかが今は、平和な社会だ。たかが分か  
らないので、実際に被害にあつた人に  
10月7日にきてくださりました。そして、実際  
に被害にあつた原爆先生に、実際に  
起つた、原爆の被害が、起つたときの、  
ビデオを見させてくれました。しかも、  
アメリカ軍が実験よりの原爆が最初  
に広島県に落とすなつて、むしろのア  
メリカ軍はどのぐらいの気持ちで  
やつてゐるのかなと思ひました。  
だけど今は、仲間みたいになつてゐるけ  
どうかぎつたからさいやくだなと思ひ



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

私は原爆先生の話<sup>を</sup>聞く前、なぜリトルボーイやファットマンを広島や長崎に落としたのか、ふしぎに思っていました。けれど、原爆先生の話<sup>を</sup>聞いて、リトルボーイなどの爆弾は、一つ落とすだけで何万人という命がうばわれてしまうことが分かりました。また、爆心地から、何百mはなれていても、黒いあとがのこっているだけでした。だから、いつ爆弾が落とされるのか、どこに逃げたら安全なのかと、不安な状況の中を毎日過ごしていたと思います。このような話をしてくださり、辛い事もたくさんあったけれど、貴重な戦争の事について、向き合うことが出来ました。平和をつくるためには、相手の気持ちを考えることも大切です。そして、戦争は、やってはいけないという強い意志を持つことも大切だと改めて感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

ぼくは、原火暴先生の特別授業を受講していろいろなことを知ることができました。とくに、原火暴が落とされた時の映像を見ておどろきました。ぼくが映像を見る前は原火暴の破土震力は、あまり知りませんでした。ビデオを見てすごく怖さを感じました。しかし、その中にいた人々は、もっと怖さを感じたと思います。だけど怖さの他に、大ケがを負った人や死者も出ました。このように大ケがを負ってしまった人は、体全体が熱くなっているので水がほしいと思うそうです。そこで、ケがを負った人が防火用水の中に入ると水が蒸発してほとんどぼくは、知りませんでした。ひ火暴者は、熱さを感じているんだと思いました。ここからぼくは、もう二度と原子火暴弾を使ってほくなくないと思いました。しかし、今は戦争する方向へ向かっています。自分が出来ることをしたいです。また、前の戦争でひ火暴者が出てしまっているのです。戦争は二度とほくなくないと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は原爆先生の授業を受けて人は大切だと思いました。原爆が広島・長崎に落とされ、多くの死者がでました。広島に原爆死者の内2万人が、あ、という間に亡くなったのはこの授業で知りました。原爆の温度が太陽よりも熱かったから、多くの人々が亡くなり広い範囲が焼け野原になったと自分の中でつながりました。兵隊として広島にむかた池田義三さんの話を最後にビデオで聞きました。そこから戦争がどれだけ大間にと、これから先や、てはいけない事だと分かりました。戦争一回で何も罪がない人が犠牲になりました。昔は戦争に勝つために人をどんどん送り込んでいました。今は人間一人を大切にしている国になっていると思います。しかし今日本は安保法案が決まりました。これからは自分達がそれを阻止していくべきだと思います。原爆は昔の1000倍という物が作られています。ウラン1kgで広島が破かいされているのに1000倍の物が落ちると地球がなくなります。どの国も平和について考えることが戦争を止める手だと分かっているはずで、原爆先生の話を聞いて本当によかったです。戦争や原爆に対する考えを持っていきたくたいです。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受けてみて、自分が思っている以上に、おろいことがわかりました。原爆の体験者の話を聞いていい体験ができました。ウランの量1kgが爆発して、建物などがこわれるほどの被害ができるということを教わりました。60kgのこっついで、すべて爆発していたらと思うと、想像できません。今こうして平和に暮らしているけれど、あの時は、そうではなかつたということがわかりました。原子爆弾を落とすのに、京都が一番おされていたとは知りませんでした。平和のありがたさ、話を聞いて、よりこの思いが強まりました。今は、それ以上の力を持った原子爆弾があるということを教えてくれました。原子爆は、太陽よりも1000℃も熱いので、人間の水分が蒸発され灰になってしまう。しょうげきは、跡形もなく消えてしまう。という話を教えてくれました。その話を教わるまで、そのこともしりませんでした。跡形もなく消えてしまうので、家族が行方不明の人が多かつたそうです。も、原爆を実験のために落とすは、いけないと思ひました。





名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/6

原爆先生の特別授業を受講して私は、5人に2人が原爆で死んでしまったということが一番ひどいと思いました。穴に落ちてしまい、引き上げようとしたときに、穴がはがれてしまい肉が見えてしまうということをはまんをして大泣きせざるを得なかったということがすごかったです。いやなことを思い出したくないと思うことを思い出して、1つ1つのことを丁寧に教えてくれてとても分かりやすかったです。池田さんのビデオを見てものすごくつらかったんだなと思いました。私は、戦争をやるということは、一番いけないと思います。私が思っている平和は、「安心した生活ができる」ということです。戦争が起きていた時代は、いつ原爆が落ちてくるか分からなかったと思うので安心した生活ができなかったと思います。私は小さなことがきっかけに戦争になったと思います。相手のことを考えることも大切だと思いました。私は戦争のことは、あまり知らないもので、これからもう少し調べて、そのことについて考えるということも大切だと思いました。これからも、相手のことを考えて、戦争について考えて、一日一日を大切に生きていこうと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

10/14

原爆先生の特別授業を受講して、原爆の威力が想像をはるかに超えたものであったことに一週間以上経った今でも驚きと恐ろしさが消えません。また、原爆の被害にあった方は二十年以上も苦しんだということ、一しゅんのうちに亡くなった人がいる、原爆は直径200mの球体にふくれあがりその表面温度は7000℃にもなった、骨ですえも残らなかった死体があるなど大人でも知らないようなこともたくさん教えていただきました。これらのことは未来の子供たちにも伝えていかなければならないと思います。先日は特別授業をしていただき、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

10/16

私は、原爆先生のお話を聞いて心が苦しくなりました。当時の兵隊さんの気持ちになってしまったからです。だれかが「助けて」と言っているのに助けられない思いがとて、心が苦しくなりました。助けてあげたくても、助けられない思いが当時の兵隊さんは今よりも何倍にもつらかったと思います。当時の兵隊さんは、その場からにげ出したかたと思います。けれどにげ出さなかつたということは、日ごろの訓練で強い心を扶い上げたかただと思います。私だったらにげ出していると思います。あまりにもつらい。光景で、目をそむけると思います。私は、当時の兵隊さんを見習い所が一つあります。それは、強い心を持つことです。強い心を持つと勇気を出して発言をしたり、人前で立つことがはるかしくなれないと思うからです。強い心を持つためには、何事にも、おそれずに挑戦をして前に進んでいけば、強い心の持ち主になると思います。けれどそれは兵隊さんにはかなわないと思います。その心は、私なりに作り上げていきたいと思います。戦争とかで、使う強い心ではなく、人のためになる事や、助けになることに、使いたいと思います。戦争は人間として、やってはいけないことです。もし、私たちが大人になって戦争を行なうことになったら、進んで、デモや反対の行動をとりたいと思っています。特別授業をしてくださり、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

10/16

原爆先生の特別授業を受講して、私は本当の場所や原爆がおこなった現地にはいないけれど、原爆先生の話を知ると涙がこみあげてきました。

たった一つの爆弾(リトルボーイ)で何十万人という死者が出たのを知って、いつどこで爆弾が落とされるのかも分からないでーしゃんのうちに亡くなってしまうのは、本当につらいことだと思いました。小さな子どもも放射線などを浴びてしまうのは、つらいことだと改めて感じました。

原爆先生の話はわすれられないことだと思います。私が、原爆先生の話を知って、戦争が起こると相手の国の人もたくさん死者が出るのに、さらに自分の国の人も死んでしまうから、戦争は絶対に起こしてはいけないことだと思いました。

原爆を仕かけたアメリカが、実験で日本に落とすのは、ひどいと思います。特に「実験」でというので、落とすのは最悪だと思いました。だから軽い気持ちで爆弾や、人の命をうばう物を使うのは、絶対にしてはいけない事だと思いました。

自分たちは戦争や原爆についてあまりよく知らないけれど、もっとよく知って分かることが大切だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/16

ぼくは、原爆の強さを知って決して原爆を使っ  
てはいけないと思いました。また、中心温  
度100万℃。周りの温度7000℃というのは、  
実際になってみないと分らないくらい  
の温度だと思います。それに加えて衝撃  
波と放射線もあります。だから、どんな  
ことがあっても使ってはいけないと思います。  
衝撃波は、建物をこわし、平野にして  
しまいます。放射線は、人を病気にしてしま  
います。このような効果のある原爆だから、  
死亡率40%。被爆率70%になっている  
と思います。しかし、そのような数値を作っては  
いけないと思います。だから、原爆は絶対に  
使ってはいけません。でも、最近は原爆よりも強い  
ものがあると知りました。それを使わないために  
爆弾を使わないのではなく、戦争をしないこ  
とが大切だと思います。そして、この出来事  
を絶対に忘れないようにしようと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

10/16

原爆先生の特別授業を受けて思ったことがあります。  
それは、まず17才で軍にはいるということです。それも強制的  
的です。17才だからアルバイトしかできません。なにより  
大切な家族とはなればなれになることが、ぼくはいちばん  
いやです。実験のためだけに原子爆弾を広島と長崎  
に投下されたのも意味が分からないぐらいにひどいと思  
いました。今の世の中だから明日が来たらあさって、あ  
さってが来たらその次の日が来る。という世の中です  
が、戦争があった時代は「自分には明日が来ないかも  
しれない」と思うことがあると思います。しかし、戦争は  
こんなもんではないと思います。ぼくは戦争の時代には  
いなかったのだから、どんなに戦争がおそろいものかは分  
りません。だから、平和展などに行っても少しでも  
戦争のことを知って今の世の中と比べて、どれだけ  
今の世の中は平和なのかを知りたいと思っています。  
すぐ、少しのことでもくじけていてはだめだと思っています。  
それは、戦争があった時代は、少しぐらいのことでもくじけ  
たりしないで、みんな生きようとしてきたのだから  
この1つの命を大切に、大切にしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

10/16

私は原爆先生のお話を聞いて戦争のおそろしさがさらに分かりました。自分たちは、体験していない戦争ですが、お話、ビデオなどを見て、聞いて、想像すると胸が痛みます。でも、この原爆先生の特別授業を受講して本当に、絶対に戦争をおこしてはいけないと思いました。原爆先生のお話を聞き、「平和」とはあらためてなんなのか、考えさせられました。どうして、戦争なんかすることになったのだろう。話し合いという解決法は思いうかばなかったのか、それは疑問に思います。これから、私たちが社会のリーダーとなっていくために戦争のようなおそろしいことがあったというのを忘れず、にしていきたいです。下の世代にも伝えていかなければいけないなとも思います。戦争を二度とおこさないために、戦争のことをもっと知り、考えを深めていきたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/6

特別授業を受講して

原子爆弾を落とされても生きててすごいと思った。  
爆心地付近の人たちの話を聞いて実物は、みていな  
いけど想像するだけで気持ち悪くなりました。

河川じきで死体を運ぶ作業の話を聞いたときに、  
死後三日も経っていてところどころくっっていると  
言っていたので、相当さんごかしつらいと思いました。  
原子爆弾を落とされてから九日後に終戦を聞いて  
ものすごくうれしい喜んだと思います。

そのあとも重度の後いしょうになやまされながらも、  
82歳まで生きてきたのがすごいと思いました。

ぼくは、平和な社会を作っていくためには、  
武器を持たないで世界が協力すれば、  
武器を持たないで争いも起きないと思っ  
ます。それがむりなら世界で話し合えば、  
いいと思いました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/6

私は、特別授業を受ける前、原爆の被害を直にうけてしまった人のことなどを、いろいろのことを考えていました。でも、原爆が落とされたあと広島はどうなった、なんて考えたことがありませんでした。私は、池田真徳先生のお父さん、池田義三さんが亡くなった方の遺体を燃やしたりする隊員だったとききました。私の中で特に印象に残っているのは、被爆して大やけどを負った人を助けたいと、トラックにのせようとしても、ひしははがれてしまうということです。助けたい、助けたいと思っても、やけどがひどいと助けることができない。私はそれが悔しいです。もちろん、それは実際に体験した人ほどではないと思います。でも、そんな物を作ったアメリカが、私は許せません。だから、日本はこれから核兵器を作らず、それを見本に他の国が戦争をやってはいけない、という意識を高めてくれることを私は願いたいと思います。また、私はこれからも戦争について、たくさん調べよく知りたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

私は原爆く先生の話を書いて、初めて知ったことは原爆くには、ラジオゾンデという物がばくだんの中に入っているということです。

広島に投下された原爆くリトルボーイの重さが4トニで、直径3.12mでびっくりしました。

候補になった都市は①広島②小倉③長崎・横浜・新がた・京都がねらわれていて京都では重要な物があるから落とされなかったけれど、広島と長崎が落とされました。原爆くを落とすときの条件は、直径5kmをこえる・平野であること・空襲がなかったことを守らなければならない。このことから私は、自分から戦争について調べたり、地域の方や人に聞いたたり、展示している所に行ったりしても、戦争について知りたかったです。

だから、戦争は、もう二度とやっはいけないと思いました。原爆く先生、見取小学校に来ていただきありがとうございます。

これからも、ほかの学校で戦争のことをもっとおしえに行ってください。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私が話をしてもらって思ったことや知れたことは、原爆を体験した方の話でドラム缶があたから助かったことです。爆心地から近い所でドラム缶のおかげで命が助かったのにはおどろきました。缶が2段で積まれていたから助かって、トラックの人も運良く助かった。聞いた時はおどろきとすごいという気持ちでいっぱいでした。10m吹き飛ばされたけれども、隊員9人が無事だったのは良かったです。町が悲惨な状態だったのにもかかわらず懸命に救助にあたったのは、9人の隊員の方でした。私だったら少しの方々でも救いたいです。爆心地から150mの所に行っても地下のトイレに行くと無事だったのには、本当におどろきました。リトルボーイの意味が少年や小さな子だったとは聞くまで分かりませんでした。京都も候補になっていたとは知らなかったです。リトルボーイの原料のウラニウムが60kgつまれているのに1kgしか爆発しなかったのは初めて知りました。60kgが火爆発すると思うと日本がどうなっていたか分かりません。私は話を聞いて日本の場所を原爆の実験に使うのは許しません。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話聞いて思った事があります。

池田義三さんは、17才と言う若い年で戦争を体験していた事がわかりました。広島に落された原爆の中にはウランと言う物質が60Kg入っていたのが1kgの爆発であんなにも威力が強くて事は、60Kgが爆発していたら広島県は無くなっていたと思います。

あと、いろんな事を教えてもらったけど一番しょうげきだった事は、表面、7000℃という事は、太陽の表面より熱いという事がわかりました。

最後、5分間くらい池田義三さんの話を聞ききました。博物館の中を見ていたとき、実際の人形がすごく無残な姿だったけど、池田義三さんは、こんな生やさしいものではないと言ったので、もっとちがう姿のことが想像できました。

原爆先生の話聞いて私が知らなかったことが、知ることができたので、平和な生活ができるのは幸せだと感じました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

10 / 14

。私は、原爆先生のお話を聞いて、原子爆弾の被害の大きさをより知りました。原子爆弾の投下された中心部にいた人は、一瞬で、あとがたもなく、消えてしまうと聞いて、すごく、温度が高いと思いました。太陽の表面温度が $6000^{\circ}\text{C}$ で、この世界で一番高いと思っていました。それなのに、原子爆弾は $17000^{\circ}\text{C}$ にたっしていつおどろきました。私は、助けたくても、助けられないことを知り、平和とは、したことができないことだと考えます。また、いつ爆弾が落ちてくるか分からない恐怖のある時代に比べて、今は、とても、平和だと思えます。

原爆先生のお話を聞いて私の思ったことがあります。戦争をやっても意味がないということ。戦争をすると多くの人々が傷くということ。悲い思いをしたり忘れられなくなるということ。戦争をすると全ての人々が傷くということ。絶対に戦争をしてはならないということ。です。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

10/14

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、自分の考えが深まり、色々なことを知りました。特に死者の数です。広島島の人口はもともと35万人でした。けれども一九四五年、八月六日、午前八時十分頃に原子爆弾が投下されて、死亡した人が4万人もいたと原爆先生は言っていました。そして生き残った人も皮膚がボロボロになっていた。けれどもその人たちは自衛隊の人に助けを求めたかということはない。人たちは最後まで希望を捨てないで生きるために努力したとぼくは思いました。さらに気になったのは原爆の温度と威力です。原爆の表面700℃、中心は100万℃で太陽の温度をはるかに超えています。それでぼくが思ったことはかな惜しいのに太陽を超える温度をもつ爆弾を作れる技術者があつたんだなと思いました。さらに威力は近くにいる人を形ものこさず、ふきとばす、国境とされた場所には平地になつてしまふ、かれきの山になつて、すごい威力が強いことが分かりました。ぼくは原爆先生から話を聞いて戦争のことや原爆のことについてもっと知りたくなりました。今回は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生<sup>じゅこう</sup>の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を知り、私はあまり原爆のことを知らなかった。この特別授業を受けて、原爆のことがよくわかりました。

原爆の力は、すごくて人が遠くまでふきとばされたり、一瞬間で黒いかげになり、いなくなってしまう。原爆は、すごくおそろしいことがわかりました。

原爆を実際に体験した人は、ひふが取れてしまい、原爆のい力が、すごい強いことがわかりました。隊員全員で9人がみんな無きずは良かったと思いました。

実際に体験した、池田さんのビデオを見ると、苦しいのに一生懸命話してくれて、その時、すごく大変だったことが伝わってきました。

この原爆先生の特別授業は、原爆のことがわかり、いい勉強になったのでよかったです。今の平和を続けていきたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

10/7

私は、原子爆弾の話聞いてみて、最初は聞くのが  
つらかったです。でも事実を聞け、いろいろなことを  
学ぶことができました。つらくてもこの話は日本に  
とっても大切なことだし、日本人が必ず知っていなければ  
いけないことだと思っています。私は、この日本に生まれ  
たのだから、原爆の事を、ちゃんと知り、向き合っていく  
ことが必要だと思っています。今の時代は平和だから、  
戦争や、原子爆弾のことは、知らなくてもいいや、アはな  
く、ちゃんと受け止めていかないと、いけないと、もう一度  
改めて思いました。そして今の時代は、どれだけ平和か  
というのも分かりました。しかし、日本は安保法案という  
のが問題になっています。この授業を受ける前は、よく分  
からなく、どうせそんな戦争なんて起きるわけがないと  
思っていました。でも今回の授業を受けて、戦争なん  
て、絶対してはいけないと思いました。それに戦争を  
自分たちの国からしかけることは絶対やってはいけない  
と思います。今回貴重な話を聞くことができ、  
自分の考えかどうでも、深まりました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

10/6

昨日、原爆先生から、広島おとされた原子爆弾 リトルボーイの話を聞きました。それが広島に落ちたのは、知っていました。でもその中に入っているウランという物質が爆発して広島をこぼみんにしてしまた事は始めて知りました。しかも爆発したのは60kgのウランの中であつた1kgしか爆発していない事を知つて、びっくりしました。それとともショックを受けました。1kgかうのは、ゴルフボール個分の事です。

1kgで、たった1kgで広島が破壊されて何千万人も死んでしまたのは、悲しいです。

ぼくは、題名の七千度の少年の意味がわかりました。広島市に落とされた原子爆弾の名前は、リトルボーイでした。リトルボーイは少年という意味で、リトルボーイからは、太陽より暑い七千度という熱が出ました。

だから、七千度の少年という題がつけられたと思ひます。太陽より暑い熱を出す原子爆弾は人類には必要ないと思ひました。人どうして傷つけ合つてもなの特もないので戦争は、ぜったいにいらないとぼくは、新ためて思ひました。池田先生のお父さんが広島市におつ平和記念館の被爆した女性の模型を見て、

「きれいなすぎる」と言つたやうであつたのは、實際はまごひでかたという事だ、ゾッとしました。

ぼくは、その状況をこの目で見た事はありません。でもそれを経験した人などに話を聞いて戦争の悲しさやおそろしさを知る事が出来ます。また、それをぼくたちが後世にそのおそろしさ悲しさを使つて行けば二度と戦争はおこらないとぼくは、

思ひます。そのために、まずぼくは、戦争についてもっと知つて学ぼうと思ひています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原火暴先生、今日は学校へ来て頂き本当に  
ありがとうございます。

原火暴先生のお話から色々なことを学ん  
だり考えたりしました。例えば、原爆  
が落ちた後のキノコ雲の起き方など  
です。その中でも、ぼくの頭に残った  
言葉は、7000歳の少年の「キレすぎる」です。  
なぜなら、この言葉一つで、原爆を受  
けた人々の姿が容易に想像できる  
からです。この言葉はお話を聞いて  
からと聞いていないときでは受け  
取り方がだいぶ変わると思います。  
話を交えずに、単戈争に反文するな  
ら単戈争について知ることが大セ刀だと  
改めて思いました。なので、これから  
の子供たちにはなぜ単戈争はいけなしか  
をしっかりと教えます。

今日は様々なお話などありがとう  
ございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/6

私は原爆のことをなにも知りませんでした。ただ「こわい」としか  
思っていませんでした。最初は「原爆」ってそんなに「いかないでしょう」と  
おもってたけど、実際はすごい。「いカ、でびっくりしました。  
1は07の原爆で14万人も死んでしまったのに、今では  
それよりも強い「いカ、のばくだんがあるのにもびっくりしました。  
その、今ある「ばくだん」が自分の街におちたら「こわいな」と思いました。  
戦争ってこわいなと改めて分かりました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/6

ぼくが原爆先生の話を聞いて、分た事は戦争とはや、てはいけないという事だけではないことが分かりました。

ぼくが一番びっくりしたことは、た、たゴルフボール(1kg)の大きさで広島が灰にな、たということでもし60kgが爆発したら日本が大変なことにな、ていたと思います。1kgだけでも階段に座、ていた人が一しゅんで蒸発していたのでとてもこおいと思いました。でもその人の身な、たらそんな所で死ぬの、と思、ていたと思います。「ヒョッ！」と光ったと思、たら辺り一面全、てが、灰にな、ていたのでぼくがその場にい、てもなにも分からな、と思います。池田義三さんが広島博物館に行、た時の人形を見て「きれいだ」と言、た時はき、その場にい、た人しか分からな、い人の姿だ、たんだと思います。原爆先生に教えてくれたお姉、妹、弟、子孫など、た戦争とはこうゆうも、た、と教えて行きたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の言話を聞いて思ったことは、まず原爆先生のへいたいさんのころの言舌で、原爆を受けてものすずいかけときました人をたすけてあげようとして車の荷台にのせてあげようとしてをひらばたとき、ズルズルと肉がさしてむまむで目かけあれない。荷台にのけてたとしても、荷台から落ちてしまって目かけられない、目かけようとしても目かけられないのが、かわいそうだなあ<sup>な</sup>と伝わってきました。

それと他に思ったことは、たった1キロの爆弾で広島全体がやられるなら60キロを日本すへてかやられしまうんじゃないかと思いました。

自分はこの時代<sup>この</sup>に生まれてきて本当によかったです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/17

この前は、貝取小学校に来ていたとき、ありがとうございます。  
うございませう。

原子爆弾について九十分もお話ししてくれて、ありがとうございます。

私、戦争はしてはいけない事、二度とおこしてはいけない事というのをはわかって  
いたけど、広島や長崎がどのような  
状態であつたらう、どれぐらゐの人がなくなつて  
しまつたのか、戦争のなにがいけない事  
なのか、わからなかつたけど、お話しをして  
いただいたおかげでわかりました。

アトの原爆で広島町の町がいきにこ  
われてしまひ、一発の原爆で、14万人  
もの人がなくなつてしまひ、人が人に見えなかつたり...

この前の話しのおかげです。いろいろ教  
えてくださりありがとうございます。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/6

原爆先生の話しを聞いて考えたこと  
原爆先生はぼくたちのために原爆がおろた  
事を話してくれました。原爆は広島、長崎に  
1発ずつの原爆がおとされてしまった。広島、長崎  
におろた原爆は、1kgのウランだったけど、  
もし、そのウランが60kgのウランだったら日本全体  
に悲劇があったかもしれないと、考えました。  
また、池田さんの父が 館で言った、  
「きれいだ」という言葉にふるえました。  
なぜ「きれいだ」といふのか、予想すると  
本当に原爆をくらった人は、も、とてひどく  
館で見たのは、原爆でくらった人より、きれ  
いだから「きれいだ」と言ったと考えました。  
また、テレビを見て、「い、しゅんて、亡くなった人  
たちなど」やけどして数年後に病死になった  
人たち今でも苦しんでいるという事を考えなが  
ら幸せに生活していきたいです。もし自分の父が、  
池田さんのような父になっていたらまた命からないうと  
「命までありがとう」と伝えたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

10/6

ぼくは、池田義三さんが、広島市の平和記念館で被爆した人を再現した人形を見て、ぼくだったらすごい被害を受けていると思ってびっくりするのには、「きれいすぎる」といったのが原爆を経験した人しか分からない最悪なじょうきょうになっているのかと思いました。また、言葉では表しきることができないと言っていたので、原爆のはかいかのすごさが分かりました。また、広島に落とされた原爆は、1kgでたった一つのゴルフボールほどのウランが爆発した物なので、60kgになったら、日本全体が被爆したと考えます。

この特別授業で戦争は、兵士だけではなく、住民までが被害を受けるものなので、絶対にはいけないと改めて思いました。今、戦争経験者が減っている中で、池田先生のように、父から学んだことを、他の人に教えるというのは、とっても、大事なことで、ぼくは思うので、ぼくも、知らない人にはなせれば、いいと思いました。





# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ウラン1kgで7000℃も熱いから、もしウランが60kgだとしたら、日本がほろびていた。しかも10000℃ぐらいの熱さになると私は考えました。わけどをした人は、手を前にして歩いていたのは、ほんとうにあたということが分かりました。ばくだんがばくはつして、人が蒸発するほどで、蒸発した人は自分がいつなくなっただのかもしれないうちに死んでしまっ、かわいそうだと思いました。京都が一番多くはかいされて、最後は、じが、いされたと聞いて、私の考えは、はかいしすぎでしまったのかと思ったら、ちがって、理由は2つあり、1つ目は人にとってじゅうような物があるから。2つ目は、日本人のけんじょうだからと聞いて「そうなんだ」と思いました。

戦争で分かったことがあります。それは、ばくだんを落とすとき、はかいの結果が分かる所に落ちていたことが分かりました。よしぞうさんが「きれいすぎだ」と言ったのは、本物は、もとひとかたど考えました



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/6

原爆先生の特別授業を受けて考えたことは、戦争は絶対にや、てはいけないということです。B29のエノラ・ゲイによって広島市に原子爆弾が落とされ、死亡率40%5人に2人が原子爆弾によって死亡したと考えられる。そうすると、原爆先生が言っていたウラン(ウラニウム)ゴルフボール1つで広島市をこなごなにしたと言うことは、原子爆弾に入っているもともとの重さ60kgすべてを使、たら日本がなくなると考えました。それと、日本がなくなるほどの威力だから、アメリカもまだ、原子爆弾の威力を知らないと思う。だから私は、広島市をターゲットにしてさらに、原子爆弾の威力を確認する実験をしたんじゃないかと考えました。やはり戦争とは、何があ、ても絶対にや、てはいけないことだと改めて考えました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/6

原爆先生の話しを聞いて考えたこと。  
1kgのウランだったけど、もし60kgのウランだったら、日本全体が「はかい」されていたと考えました。また、原爆という、とてもこわい原爆が広島、長崎におちた。そのおちた結果で、じゅんかんて「な」くなってしまっ、て、それほど「はかい」力があると思、いました。それで、これから、相手の人たちと仲良く、な、れ、相手のお持、つ、を、考えながら生活して、い、ま、て、し、て、す。  
また、池田さんのように父が17歳の時、行、っ、て、い、た、ら、どうすれば、よ、い、の、か、考、え、て、み、ま、し、た。そ、し、た、ら、原爆が「お、と、さ、れ、て、ま、た、と、考、え、ま、し、た。池田さんの父は、最、後、ま、で、生、き、残、り、て、最、後、に、痛、気、で、お、ち、ま、し、た。あ、の、テ、レ、ビ、を、見、て、す、こ、ろ、原爆はこわく、く、ら、た、人、は、し、し、ゅ、ん、で、お、ち、ま、っ、て、力、が、強、い、と、考、え、ま、し、た。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/6

私が、原爆先生の話を聞いて、印象に残ったことは、原爆先生(池田先生)のお父さんが「展示館の模型は、「きれいすぎる。」と言った事です。展示館の模型よりも、原爆被害者の傷などは、もっとひどかったのは、まったく想像できませんでした。なぜかという、私がその模型を見て、まったくきれいなんて思わなかったからです。このことから、実際に原爆被害者を見た人達は、その模型を見て、義三さんのように「きれいすぎる。」とか「こんなものではない。」などと思うかもしれませんが、実際に原爆者達を見ていない人達は、模型を見て、「ひどいな。」とか「残った。」などと思うのではないかと私は考えました。原爆先生に原爆の特別授業をしてもらい、いなかたが、考えが、まったくちがったと思います。この特別授業で初めて知ったことは、ウラン(ウラニウム)のことです。まず、ウランの存在さえ、私は知りませんでした。ウランがあったから、原爆が起った。その時は1kgしか燃えなかつたけれど、もし60kg燃えていたら、広島だけでなく、日本全体が被害にあっていたと思います。そうしたら、私達はこの世にいなかつたし、日本は終わっていたと思います。私は原爆先生の話を知り、原爆のおそろしさを知る事が、出来ました。そして私は、世界中の人々が「戦争はしてはいけない。」と思うような世の中になってほしいと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/6

・私は、原爆先生の話を聞いて、改めて戦争、ておそろしいものだなと思いました。何の罪もないのに、戦争によって殺されていく人の身になって考えてみると、とてもつらくて、ひどいなと思います。今までふつうに暮らしていたのに、当たり前な日常が一瞬にしてぐずぐずしてしまうから、たえられないなと思います。戦争を行なった人たちが許すわけにはいかない!と思います。人をたくさん死なせたのに、許す方がおかしいと思います。でも、トイロの中に入れて助かった人もいて、聞いて、おどろきました。そんな戸先にも助かったんだー!と思います。本当にその人は、助かって良かったな!、と思います。ばくだんを落とされて、人々はあ、というまに亡くなっていく、ていうのは、あまりにもひどいことだな、て思いました。最後のVTRで、池田義三さんが泣いているのを見て、とてもつらかったんだろう、て感じました。私も、義三さんだったら、とてもつらいです。

今回の特別授業は、戦争のことについてくわしく知れました。また、授業をやしてもらいたいです!



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/7

私は今まで「戦争」はこわいもの、やっではないもの、ひどいもの、だと  
1人で単に思っていたけれど、原爆先生のお父さんが実際に体験した  
ことを聞いて、具体的に戦争で何が起るのか、戦争で使われている  
兵器とは、原爆でのどんな被害をうけるのかを知ることができました。  
そして、日本人として目をそむけてはならないけれど、自分が生まれ育った国  
でこんなことかと思、ショックをうけて、忘れようとしてしまいます。  
けれど、「忘れてはならない」ことであるし、戦争や原爆で被害をうけ、  
七つたり、今もお苦しんでいる人から、目をそむけず、向き合っていき  
たいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/6

ぼくは戦争のこわさつらさをビデオを見て学び  
 ました。戦争も後の世代に後つぎしたいなせ  
 してはいけないのだからこわさを後の人たちにお  
 してほしいと思いました。よく7000°の熱さに  
 たえられたと思うしアメリカは広島長崎と2発  
 も火暴弓弾を落とすのはひどいと思う。実大の験者  
 にはかあからないから今日本に戦争がおきたらこわい  
 ので必ず人は後つぎはしたいと思う。こんな  
 きちよつな体験をさせていたたきありがとうございます。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/6

原爆先生の話を聞いて、戦争のお父さんの話していることや、実際にあったことを話してくれました。印象に残ったのは「リトルボーイ」の一発で、外にいた人は、いっしょんとして消えたことがおそろしかった。死亡率が40%、破壊率が半以上の70%です。ぼくは5人に2人亡くなっていることから「リトルボーイ」がこわいと思いました。さらに最近では「リトルボーイ」よりもはるかにこえた原爆が世界各国であるので、今、その原爆の持っている国と戦争し負けたら「リトルボーイ」よりも怖い原爆で、他の県もまきこんでしまっているか。と思いました。ぼくは昨年亡くなったおじいちゃんから聞いたこと、2才の時に体験したおじいちゃんからも聞いたことがありました。ウラン1kgで7000℃の高温を出す、60kgあった3,420,000℃(太陽の10倍)にもなっていたから、戦争というものは、改めて恐ろしいことが分かりました。





原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/6

私は、8月6日のことは分かってはいたんですけど、本当はもっと詳しく、テレビや映画では伝えられないことが分かりました。日本をかく実験のように使われていて、多くの方が犠牲になりました。池田さんは犠牲になった人達を色々な作業をしていて、もっと見たくないと思うし、複雑な気持ちだったと思います。

私はそのような話しを聞いて、思わず下へ向いてしまいました。広島市の人達は最期がこのようなことで、原子爆弾は、おそろしいものだと感じました。もっと友達と過ごしたり、遊んだり、家族と笑ったり勉強したりたくさんすることをしたいと思っていたのではないかと思います。

私は、実体験した話しを聞いて、このようなことはもう二度とおこしてはほけたくないと思いました。おこさないためにはこれからの子達に、このことを伝えていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/6

原爆投下都市の条件に「それまで空襲がなく、原爆の威力が確認しやすい都市」があったことを知り、アメリカもどれくらい破かい力があるのかわからず、核実験と同じように広島や長崎を使われたことが衝撃でした。1kgで広島が大きな被害を受けたのだから、60kgも爆発したら、日本全域で被害が出て、私の祖父母も死んでいたかもしれなかつたと思ひ、生きているありがたさについて考えました。私が善三さんの受けた命令を実行したら、一時間もたたないうちに気がくるうと思ひます。

もう二度と戦争が起きないように、私は、戦争のことを知らない人たちに、戦争について学んだことを伝えていこうと思ひます。少しずつでも戦争がなくなっていくといいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/6

私はこの授業で考えた事は、一発のばくだんリトルボーイについて考えました。リトルボーイは、ゴルフボールーフで、まち全体にしようけきを受けました。リトルボーイがこのばくだんより、もっとも大きい物だったら、どうなると考えました。ゴルフボール1個じゃ足りないと思いました。そのいり、くは、すきまいいほど、そうぞうがつかきません。これ以上いり、くが大きいと、鶴の市だけでなく、日本全体がひがいが出ていると考えます。そうぞうもつかず、そうぞうもしたくないじょうきょうです。ばくだんは一発で、何人もの人を殺してしまうと思います。ばくだんは、とても怖くて、心が痛いのです。でも、このきろくを、もっと知らない人に伝え、その歴史を、と残していきたいと考えます。私達は、戦争がなく、戦争におびえない、今の時代が生まれていて、私は、とても嬉しいと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/16

原爆先生の話聞いて、原爆のいカ  
や人が「やけど」をしてひふがはがれてしま  
う事実におどろきました。体験した人  
にしか分からないきょうふ、やおそろしさ  
があるということが分かりました。体験した  
人たちが「だんだん」といなくなっていく  
から、妹がいるのでこの事実を伝えて  
いきたいと考えました。また、私がこの  
立ち場にいるとしたらぼう然に立ちつ  
くし、あけにとられると思いました。  
広島と長崎におちた原子爆たんよ、  
りも強いいカを持つ爆たんが外国  
にあるから、なんでつくるのか疑問に  
思いました。日本みたいにかく兵器  
をつくらない世の中にな、てほしいと  
私は思いました。私たちが、今戦争  
をや、ていない日本に産まれてよか、  
たです。原爆先生の話聞いたこと  
によって原爆の時の事実をくわしく知れたし思っ

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

ていたことがさらに広がり戦争を知らない人たちに  
伝えていきたいと思、ていました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受講して  
たった1kgのウランですごい被害を受  
けたということにおどろきました。その  
当時にすぐれた技術がなか、たから1kg  
しか発火しなか、たと聞いて、リトル・ボ  
ーイの中に入、ていたウランは全部で60  
kgだ、たけど1kgしか発火しなか、たので  
60kg全部が発火していたら、どうな、  
っていたのだろうと考えると、とても恐ろし  
くなります。また、原爆の熱線7000℃  
衝撃波の速さは、毎秒440mだと聞  
いたことにもおどろきました。太陽の  
表面温度6000℃より高温な7000℃  
なので、どれぐらいの熱さなのか？とい  
うことを考えるともう、一しゅんで蒸発して  
灰になってしまうと思います。広島に落と  
された原子爆弾の恐ろしさは体験者でな  
いと分からないと思います。いまの世の中が  
平和であることが幸せだと改めて考えました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/6

原爆先生の特別授業を受講して、改めて原子爆弾の恐ろしさを知り、いろいろな事を考えさせられました。たった1kgのウランで14万人もの人を殺してしまうということや、この原子爆弾から出る熱は表面温度が7000℃以上にも達するということが、衝撃波の速さが毎秒440mにも達するということなど、すべてが想像をはるかに越えるようなショックな内容のことばかりでした。戦争だからといって、絶対に原子爆弾を使ってはいけないと思いました。核爆弾ばかり使っていると、多くの人々が犠牲になるのはもちろんのこと、地球環境に大きな影響をおよぼす危険があると思うので、絶対に使ってはいけないと思いました。

当時の原子爆弾の恐ろしさをもっと多くの人達に知ってもらい、二度と原子爆弾を使用しない世界になればよいと思います。絶対にあんな怖い想いはしたくないし、してはいけないと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/6

私は、原はく先生のお話しを聞いて学んだ事は、戦争というものは悲しい事ということ。原はく先生は、この授業をすることで、子どもたちは、わかるけど今から生まれてくる人は、戦争はなにがいけないのかとかかわからないからこうゆうきかいをしてるんだと思います。一番印象に残った事は、展示館には、人形がありそれはきれいすぎるという言葉で表そのことから原はくの時亡った人や、まだ生きがえやけどかあった人たちを助すけようとしたときのヒフを無くならたれて骨だけが残ってしまうなどがあったからだと思います。私がこれからできることは、まだ戦争のことをあまり知らない子どもたちや生まれてくる人たちなどに教え伝えてあげることをしていろいろな人に知ってもらおう。